

## ジョンダジンさんと私

### 印象文＋理由文

(親切な人)

E 村岡光 (むらおかひかり)

#### 1. ダジンさんの印象

最初にグループの顔合わせをしたとき、ダジンさんは笑顔で「こんにちは」と言ってくれました。少し緊張していたわたしにとって、そんなダジンさんの良い雰囲気と明るさで少し緊張を和らげることができました。4月18日の自分の文化について考える授業では、ダジンさんの家族、これまで住んでいた韓国の都市、大学などについて話してくれました。「この都市は韓国のどこにあるの？」などと質問をすると、自分で韓国の地図を簡単に書いて丁寧に教えてくれました。その授業の終わりには、グループの3人で黒板にあった大きな地図でそれぞれの故郷を指でさして教えあいました。5月9日の散歩の計画を立てるとき、最初は千秋公園に行こうという話になっていました。そのときはそこぐらいしか思いつかなかったからです。私は千秋公園は何回か行ったことがあるし、少しつまらなそうだなあと考えていました。しかし、その時にダジンさんが自分の寮に私たちを招いて韓国料理をごちそうしてくれるという話をだしてくれました。私は韓国料理が大好きだったので最高に嬉しかったです！！ダジンさんは親切なうえにアイデアマンだと感じました。5月16日にダジンさんの寮にお邪魔しました。私たちが来るために部屋をきれいに掃除してくれたそうです。その日は、韓国料理のチヂミと肉の辛い炒め物、イカとタコの漬物、ダジンさんのお母さんが作ったキムチや韓国のスナックをいただきました。なんとお土産に韓国のラーメンもいただきました。ダジンさんのおかげで楽しい時間を3人ですごすことができました。帰るときには寮の外まで出て手を振って見送りをしてくれました。ダジンさんは親切で素敵な人です。

#### 2. 特に聞きたいテーマ：日本への留学

(1回目のインタビュー)

私はこれからのインタビューのなかで、ダジンさんに日本での留学について聞いてきたいと思います。初め、私はダジンさんに対して親切な人だという印象を抱きました。またダジンさんと話している中で、寮での焼肉事件や友達と楽しくお酒を飲んだという話を聞いていたので、日本での留学を楽しんでいるんだなという印象も抱いていました。しかし、前回の授業の中で先生と話した時に、ダジンさんは友達と過ごすことは楽しいけれども、このままでいいのか悩んでいることを知りました。(私たちのグループは3人しかいなかったのですが、ダジンさんが待っている間、先生とそのような話をしたそうです。)そこで、ダジンさんに日本での留学についてどう思っているのか尋ねてみました。ダジンさんは中学のときから日本語を学び、留学は高校のときから考えていたそうです。しかし、その時はまだ日本で何を学ぶかということは考えていなかったそうです。今こうして日本に留学していますが、今もまだ何を学んでいこうか考えている途中なのだそうです。一応、今のところは日韓の通訳になりたいそうです。日韓の通訳者は、日本語を日本人よりも上手に話すことができるらしく、そのためにもっと日本語を勉強したいと話していました。ちなみに、

ダジンさんは敬語がにがてなのだそうです。また、時々日本語で相手に言いたいことが頭の中ではわかっているのに、いざ話そうとするとなかなか正しく話せないと言っていました。自分の日本語の弱点をわかっているんだなと感じました。最後の方で、ダジンさんから韓国の大学でのことを話してくれました。ダジンさんは中学のころから日本語を学んでいたこともあり、大学では周りがほとんど初心者のなかでかなり日本語ができるほうだったそうです。またそのころに日本語に関してある目標（試験かな・・・？）を達成していたので、あまり勉強をしなくなったそうです。しかし、しばらくすると今まで自分よりも日本語力が下だった人たちと自分が同じぐらいになってしまったそうです。ダジンさんはそのとき、自分はいったい何をしていたんだろうとショックを受けたそうです。

私自身はまだ一度も留学をしたことがありません。しかし、少しダジンさんと似ているところがあることに気が付きました。私も英語を中学の時から学び始め、高校の時から留学について考え始めました。そして今、ダジンさんと同じように大学生のときに留学をしたいと考えています。留学は期間が決まっているので、自分の学びたいことに対して熱心に取り組みつつ、現地での人との交流や異文化を体験すること、それらをバランスよくすることが大切なのではないかと思います。勉強だけすること、または逆にただ遊んでいるだけではもったいないと思います。

よって、これからダジンさんと日本での留学について、ダジンさんの経験などを含みながら聞いていきたいと思っています。

#### 〈2回目のインタビュー〉

今回、ダジンさんに最初になぜ高校の時には留学をしなかったのかについて聞きました。この質問をした理由は、私が高校生のときに私も留学を考えていた時期があって、結局行かなかったというダジンさんと似たようなところがあったので聞きたいと考えたからです。ダジンさんは2つの理由を教えてくださいました。1つ目は、高校の時に留学することは手続き、また経済的問題があったから。2つ目は、大学へ行ってから留学をしたいと考えたからだそうです。私の場合は少し勇気がなくて行かなかったのですが、ダジンさんは大学で留学をするとちゃんと計画的に考えていたので、しっかりした人だと感じました。

次に、日本での生活について質問しました。その理由は私の知っている秋田大学の学生で、バイトでお金を稼ぎながら勉強をしている人がいたので、ダジンさんはどうなのか気になったからです。日本への留学には奨学金をもらっているそうで、今は親からの仕送りなどはいっさいないそうです。また、ダジンさんは留学生の寮に住んでいるのですが、家賃がとても安くていいそうです。そして最近、ダジンさんはラーメン屋さんでバイトを始めたそうです。外国でバイトをするのはとても勇気がいることですし、またダジンさんのバイトは接客業です。その積極的な姿はカッコいいと感じました。

3つ目に、秋田大学で他国から来た留学生と誰か仲良くなった人はいますかと質問しました。その理由は、私は時々大学内でダジンさんと会うのですが、いつもダジンさんは同じ韓国の友達と居るので、ほかの国の留学生とはどうしているのか気になったからです。ダジンさんは同じ授業を受けている中国人の留学生と仲良くなったと言っていました。また、その中国人の留学生たちを見て、以前自分が抱いていた中国人へのイメージが変わったと自分から話してくれました。大学での授業で彼らはとても積極的に取り組み、一生懸

命に勉強をがんばっていると言っていました。またダジンさんが受けているある日本語での授業にはその中国人を含め、留学生が4人しかいないそうです。そのなかで、ダジンは全員の前で発表をする機会があっても、ほとんどが日本人なので1人で発表する機会があった時にはそれを避けて、代わりにレポートを書くことにしたそうです。私はこの話がとても意外でした。ダジンさんは積極的なひとというイメージがあったからです。

最後に、ダジンさんは自分が周りの良い人々に恵まれていると話してくれました。そのときに「人福」という韓国の言葉を教えてくれました。(本当は漢字なのですが、日本で使われていない漢字だったので見つけることができませんでした。) その意味は、周りにいい人たちがたくさんいることだそうです。ダジンさんにはいい友達、先生、バイト先の人たちに恵まれているそうです。今回は特に、高校時代の良い教師について話してくれました。その先生は、ダジンさんが日本語を学びたいことを知っていて、日本へ留学したことがある知人が帰国した際にダジンさんに会わせて話すことができる機会をくれたり、またダジンさんが大学に合格した時にはとても喜んでくれたりした良い先生だったそうです。出会いはその人の人生に大きく関わってきます。ダジンさんの親切な人柄がそれらのような良い人間関係を築いているのではないかと考えました。

### 3. まとめ

これらのインタビューから、ダジンさんは親切で積極的で、よい人間関係のなかで留学生生活を送っている人だと感じました。また、留学生活の中で真剣に何を学ぶべきなのか考えていること、留学での新しい発見などについてもきくことができよかったです。私自身も、最初はわからなかったダジンさんの考え方を知ることができたり、留学に対する気持ちを高めたりすることができました。私は英語を留学で学ぶというよりも、英語は留学前にしっかりと習得して、英語を使って学ぶことをしたいと考えています。またクリスチャンであることからイスラエルに興味を持っていて、今はイスラエルの大学でイスラエルの歴史や聖書について学ぶことにも興味を抱いています。ですから、ダジンさんが日本語で学んでいる姿を見て、私は良い刺激を受けました。またダジンさんが留学で多くのものを得ていることを知り、留学への期待が膨らみました。このインタビューではダジンさんのことだけでなく、自分自身についても考えさせられました。しかし、今回のインタビューで得たダジンさんのイメージが必ずしもすべてではないと思います。もちろん、ダジンさんのすべてを知り尽くすことはできませんから、ただ今回の結論がすべてではないことをちゃんと心に留めておきたいと思いました。

### 4. 授業を終えて

このグローバルな時代、「文化」や「コミュニケーション」という言葉を頻繁に耳にします。私はこの授業を終え、文化は一人ひとり異なるものであり、またコミュニケーションとは相手を国籍や外見の違いに関係なく一人の人間として認めた上で心を通わせることだと考えました。たとえば同じ日本人であっても、これまでいた環境、人間関係など、それぞれ異なります。私たちは文化を国によって分けて考えてしまいがちですが、実は国籍に関係なく、文化は一人ひとり全く異なるものなのではないかと考えました。そして、コミュニケーションにおいても、相手をその国籍や見た目ですら判断するのではなく、一人の同じ人

間として関わる時に真の意志疎通、コミュニケーションができるのではないかと考えました。

最初はこの授業はレポートが大変だと聞いていたので少し不安でしたが、レポートを少しずつ書き進めながら授業を進めていったのでこのようにしっかりと書くことができました。今回この授業で学んだことは、今後様々な人と関わるなかでとても役に立つと思います。ありがとうございました。